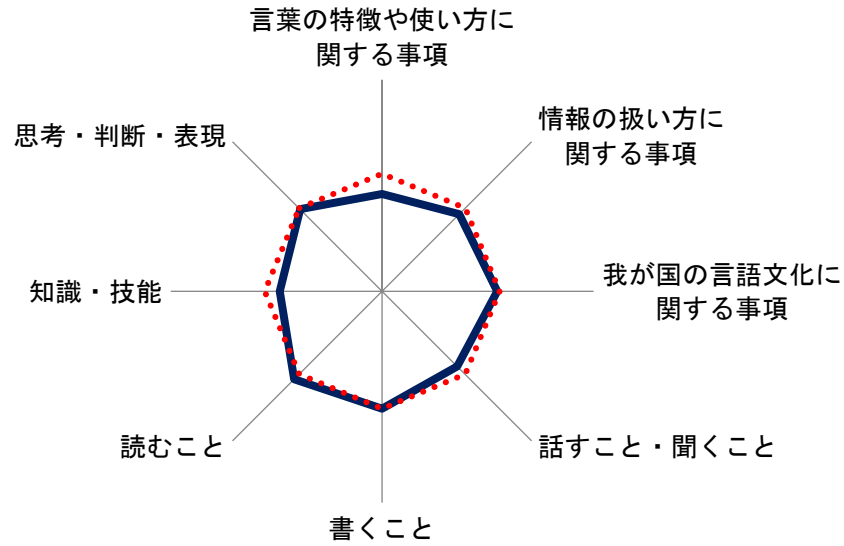


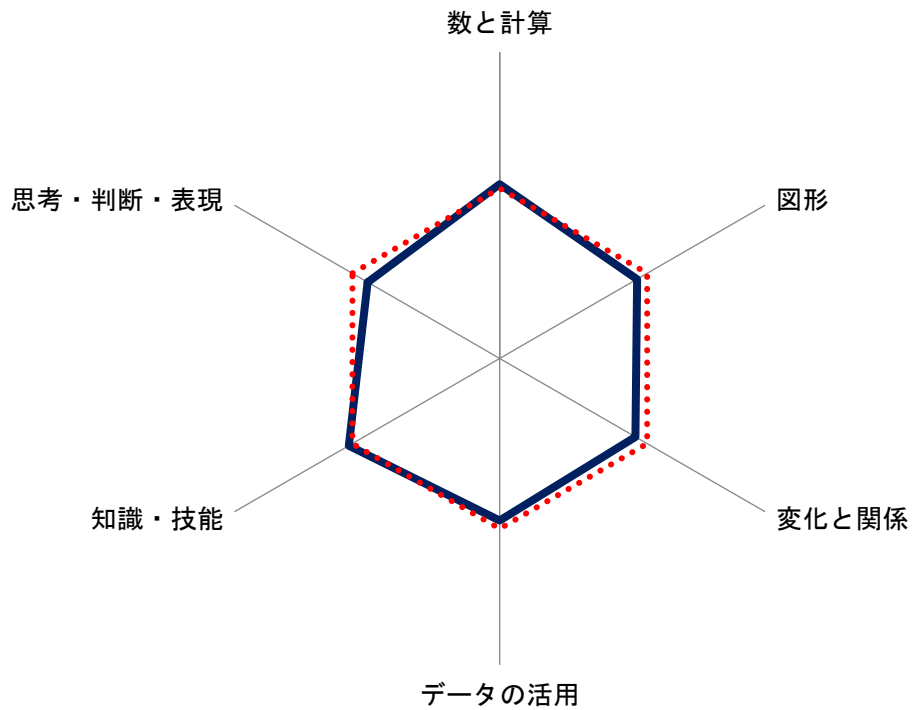
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

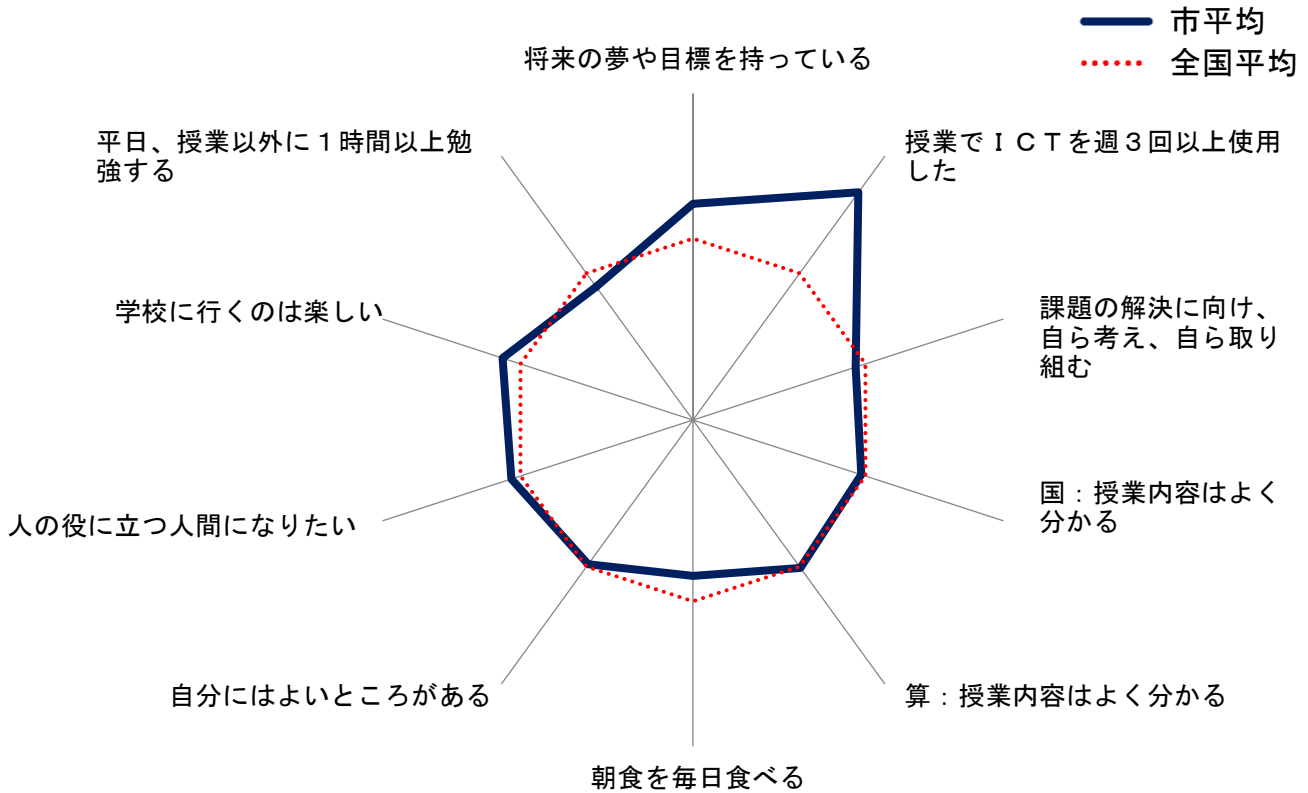
— 市平均
..... 全国平均



【算数】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数のほとんどの項目が昨年度に比べて全国平均との差が小さくなっているが、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国平均を大きく下回っており、昨年度からの課題が依然として見られる。今後も「市学力向上しこちゅ〜プラン」を基にした授業改善を推進するとともに、調査結果におけるつまずきに留意した指導を行うことで、知識と活用を一体的に捉えた学力を育成することが望まれる。

児童質問調査では、「授業でICTを週3回以上使用した」の項目が全国平均を大きく上回っており、ICTを活用した授業実践研究が推進されている成果がうかがえる。一方、「朝食を毎日食べる」の項目は前回調査に引き続き全国平均を下回っている。今後は、学力向上の基盤となる基本的な生活習慣や学習習慣の確立に向けた取組を、学校と家庭が連携してより一層推進することが望まれる。